

今年はひつじ年
いい夢みれるかな？



Amnis
あむにす

泉大津市文化財ニュース

Vol.2 2015 January

特集 泉穴師神社②



■ 泉穴師神社 平成の大修理
本格的な工事がはじまりました！

- 修復工事の様子
- 文化財公開展を開催しました

泉穴師神社 平成の大修理

本格的な工事がはじまりました！

修復工事の様子

平成 26 年 8 月より、重要文化財泉穴師神社本殿など 3 殿の修復工事が始まりました。工事の様子をご紹介します。



8月 事前準備として、おおいや覆屋がつくられました。



9月 本格的に修復工事が開始されました。古いひवादぶき檜皮葺の屋根が取り外され、新しい檜皮が葺き始められました。



檜皮葺職人の手によって、一枚一枚檜皮が葺かれていきます。



檜皮葺に使用する檜皮（ヒノキの樹皮）と竹釘。

檜皮は細長い台形に加工されています

竹釘には1寸（約3cm）のものと1寸2分（約3.5cm）のものがあり、部分によって使い分けられています。



軒先をちょうな手斧で削り揃えます。軒先はより美しく見せるために 30 cm程の厚みがあります。

細部に彫りが施される部分もあります。魚の尾のようなデザインが優美さを出しています。





隅の部分は曲線で優美さを表現しています。檜皮という柔軟性のある素材だからこそできる技です。



昭和 32 年に補った部材



昭和 54 年に補った部材



今回の修理で補った部材

傷んだ部材は確認のうえ取替えたり、補ったりします。取替えた部材には、のちのち、いつの修理で取替えたものかわかるように、焼印が押されます。



彫刻の施された^{かえるまた ときょう} 墓股や斗拱が取り外されました。見取り図を作成後、塗りなおします。

本殿の彩色の塗り直し作業のため、古い彩色が削りとられます。部材の表面を傷めないように慎重に作業されます。すべて削り取ったのち、新しい彩色がほどこされます。



取り外された墓股。左から本殿向^{こうはい} 拝西、東妻^{もや}、身舎正面東に取り付けられていたものです。いずれも繊細な彫刻が施されています。補修の後、彩色の塗り直しが行われる予定です。



12月 本殿の檜皮がほぼ葺き終わりました。平成 27 年からは摂社春日神社、摂社住吉神社の葺替が始まります。



古い檜皮を取り外した摂社春日神社。春には新しい檜皮葺の姿が見られる予定です。

文化財公開展を開催しました



11月8日に泉穴師神社修復工事の見学会が行われ、市民ら120名が参加しました。通常は見ることのできない小屋組みの様子や、葺替工事の様子を間近で見た見学者は、一様に感嘆の声をあげ、地元の文化財の素晴らしさを再認識していました。次回の見学会は平成27年2月14日午前10時から行います。

編集後記

◆泉穴師神社本殿の新しい屋根が葺き終わりました。古いものを未来につないでいくことも文化財保護の大切な役割だと、しみじみ感じた初春でした。(村)

◆今年はひつじ年ということで、ひつじに縁の深い泉大津は盛り上がっています。地元の文化財を知っていただくことで、みなさんの泉大津 love おづみん love の気持ちが高まりますように。(奥)

Amnis Vol.2 2015 January

発行 泉大津市文化財保護委員会
協力 泉大津市教育委員会
生涯学習課
泉大津市東雲町9番12号



Amnis (アムニス)

ラテン語で海流という意味です。文化財の情報が、市民の皆さんに海流のように流れていきますように・・・という願いを込めて。